

## ECO（エコロジー）& UD（ユニバーサルデザイン） を考えるバスツアーの報告：2010年9月5日（日）実施

最近は、“エコロジー”や“ユニバーサル”という言葉が身近になってきましたが、しかし実際には日常の暮らしの中で実行するには、まだ程遠いのが現状です。これらの課題を気軽に考える機会を持ちたいと、ユニバーサルデザイン建築研究会と共催で、3ヶ所の施設をバスで巡る見学会を行いました。

9月5日（日）残暑の厳しい時期ではありましたが、21名が参加しました。いずれの施設も市街地から遠い場所にあり個人では行きにくいいため、参加者からは、バスで一度に3ヶ所見学できてよかったとの感想をいただきました。バスは、兵庫県のエコツーリズムバス制度を利用し、25,000円の助成を受けました。

### （1）こうべ環境未来館 神戸市西区見津が丘

神戸市の資源リサイクルセンターに隣接した施設で、ビオトープ、太陽光発電、風力発電、屋上緑化、雨水利用などを設置。館内には、環境問題について体験的に学べる展示物があり、子どもが学習できるよう、わかりやすく工夫されている。また、ボランティアガイドさんの説明も丁寧でわかりやすかった。日頃少し努力するだけでエネルギーが節約できること、ゴミの正しい分別の仕方やゴミの減量化の必要性などを学んだ。



エントランスホール  
ペットボトルをリサイクルした沢山の  
Tシャツの展示が見事



バスを降りて、こうべ環境未来館の  
玄関に向かう



館の前には風力発電設備が設置さ  
れている

### （2）レストハウス まきば 神戸市西区神出町

昭和8年、天王山農場の経営者・大西肇氏の事務所兼住居として建てられた吹き抜けのある2階建ての木造建築物。22年度兵庫県が発表した「ひょうごの近代住宅100選」の一つで、当時の生活様式を現代に伝える貴重な文化遺産として、また地域の景観資源

としても重要な建物である。現在はレストハウスとして活用され、築後 77 年経た今も大切に使われている。レストハウスのオーナー（大西氏ご子息）から、当時の住まいや暮らしについてのお話を伺い、2 階にも案内していただいた。美味しいと評判の洋食に舌つづみを打ちながら、ゆったりとした心地よい空間を楽しんだ。

夏は冷房要らずの吹き抜け空間、  
山小屋の雰囲気はどこか懐かしい



「レストハウスまきば」の正面



当時のままの手造り家具



木の枝を使った遊び心のある手すり

### (3) 有馬富士公園 三田市福島

豊かな自然を活かし、“自然休養型文化公園”を基本テーマとした県内最大の広域型都市公園で、平成 13 年に開園、現在全体計画の 4 割が完成している。自然の生態を学び体験できる生態園や学習センター、園芸療法花壇などが整備され、子どもから高齢者まで楽しめるゾーンがいくつも用意されている。自然学習センターを基点にユニバーサルの視点を踏まえてつくられている公園内を検証しながら散策した。変化に富んだ散策路に沿う形で、スロープで移動できるルートもうまく工夫されていた。

残暑の厳しい日中、木々の緑や水辺のせせらぎ、樹間を渡る涼風に心身共に癒され、人工的な環境に慣らされている今の生活を振り返りながら、人間にとっていかに自然が大切かを実感することができた。



水辺には車椅子でも近づける



散策中の折々に、公園の名称となっている「有馬富士」が望める



車椅子でも使える水飲み場



自然学習センター内のスロープ

(以上)